

データ戦略タスクフォース第一次とりまとめの概要

参考資料11-3

データ戦略の アーキテクチャ

戦略・政策

組織

行政
民間

ルール

データ
ガバナンス
連携
ルール

連携基盤 (ツール)

データ

利活用環境

インフラ

ビジョン

現実空間とサイバー空間が高度に融合したシステム（デジタルツイン）により、新たな価値を創出する人間中心の社会

○ 理念：信頼（トラスト）と公益性の確保を通じて、データを安心して効率的に使える仕組みを構築する

○ データ活用の原則 自分で決められる、勝手に使われない つながる いつでもどこでもすぐに使える 安心して使える みんなで創る

○ 社会実装・業務改革

組織・ビジネス での取組

いかなる価値を誰に対して生み出すか、国民・行政・産業界のユーザー視点から
ニーズ分析を行い、デジタルツインの視点でビジネスプロセスをゼロベースで見直す

データがつながることで「新たな価値を創出」

行政

ワンストップ、ワンスオンリー

重点的に
取組むべき分野

民間

データ流通、官民データ活用

○ 喫緊に取組むこと

トラストの 枠組みの 整備

IDの認証やトラストサービスの評価などトラストアンカーの機能整備の他、誰が(主体・意思)、何を(事実・情報)、いつ(時刻)というトラストの要素について、
これらが主張されたとおりのものであること(真正性)、改ざんされていないこと(完全性)の確保・証明が必要である。以下のように整理し、各々の論点を整理
(論点例:本人確認レベル、発行した自然人、組織、機器の確認方法)

- ・ 主体・意思: 意思表示の証明 (意思表示が本人によってなされたものであること等の証明)
- ・ 事実・情報: 発行元証明 (発行した自然人、組織、機器が信頼できるか等の証明)
- ・ 存在・時刻: 存在証明 (何らかの情報が、ある時点において存在し、それ以降は改ざんされていないことの証明)

→ 整理した論点について、関係省庁で
解決の方向性を検討開始

プラットフォーム

分野横断で検討すべき共通項目

- ・ 共通アーキテクチャの整備
(スマートシティリファレンスアーキテクチャ)
- ・ データ連携の共通ルールの整備^{*1}
- ・ 主要データ標準、データ品質管理フレームワークの策定
- ・ 分野間データ連携基盤でのツール開発
(データカタログ検索、データ交換、データ連携契約機能)
(分野間連携のための民間促進団体DATA-EXによるポータルサイト運営)

^{*1} データ提供主体/データの真正性、データの
取扱いに係る契約ひな形、パーソナルデータ
の取扱い、データ交換のための標準化、デ
ータの品質の考え方

分野ごとに検討すべき項目

- 重点的に取組むべき分野の関係省庁を中心に、官民共同での
検討の場を設け、プラットフォームの在り方についてデジタル庁(仮称)
発足までに整理 (健康・医療、教育、防災、農業、インフラ、スマートシティ等)
- ・ 関係者のニーズ分析: データを中核とした新たな価値創出のための分析
- ・ アーキテクチャの策定: スマートシティリファレンスアーキテクチャを参照
- ・ ルールの具体化、ツール開発 (データカタログ、メタデータ、APIの整備等)

データ整備

ベース・レジストリ整備の推進 (ベース・レジストリ・ロードマップの策定)

- ・ ベース・レジストリ^{*1}の選定
 - － 選定基準^{*2}
 - － 重点整備対象候補^{*3}
- ・ ベース・レジストリの推進方法
 - － 優先順位に従い段階的に導入
 - － 成功事例をつくり効果や課題を明確化
- ・ アクション
 - － ベース・レジストリの指定 (内閣官房IT室: 2021年3月末)
 - － データ整備: 先行プロジェクトの実施 (住所や法人情報等)
 - － 主要データ標準の整備、データ品質管理フレームワークによる評価
(内閣官房IT室: 2021年3月末)

^{*1} 公的機関等で登録・公開され、様々な場面で参照される、
人、法人、土地、建物、資格等の社会の基本データ

^{*2} 多くの手続きで使われるデータ、災害時に重要なデータ、
社会的・経済的な効果大きいデータ

^{*3} 個人 (マイナンバー含む)、法人、文字、不動産、住所、
法律、制度、資格、公共施設、インフラ等を想定

その他基盤データの整備の推進

- ・ 特定分野などで社会の基盤として扱われる
データの整備を促進

オープンデータの推進

- ・ オープンデータ基本指針の改定による
機械判読性の強化

包括的なデータマネジメントの推進

- ・ 主要データ標準、データ品質管理フレームワーク等
の活用

○ 引き続き検討すべき事項

<国際連携><人材><デジタル庁(仮称)の役割>

データ利活用の環境整備(データ流通市場の活性化等)

デジタルインフラの整備・拡充

国際連携

人材

データ整備方針等へのデータ戦略の反映